

子どもたちの輝く姿（体験学習から）

副校長 武 藤 晋

朝晩冷え込む日が増え始め、校庭の木々も色づきを増してきました。

先日の音楽集会をはじめ、学校を開く週間では、たくさんの保護者の方にご参観いただき、子どもたちの普段の学習の様子や活躍する様子をご覧いただけたのではないかと思います。どうもありがとうございました。

秋は学校行事が盛りだくさんの季節です。9月の1・2年生のズーラシア遠足に始まり、どの学年も、遠足や社会科見学、体験学習など、校外へ出かけ、学校の中だけでは経験できないことや見られないものに出会い、学びを深めています。

その中で、5年生の三浦体験学習と4年生の愛川体験学習に同行しました。どちらも、子どもたちの輝く姿に触れることができ、うれしく思いました。

5年生の三浦体験学習は、残念なことに2日間とも雨になってしまいました。予定していたいかだ体験やナイトウォーク、野外炊事もできなくなり、雨プログラムになってしまいました。おそらく、楽しみにしていたことがいろいろあったと思います。しかし、誰一人文句も言わず、雨プログラムの学年レクをみんなで盛り上げたり、砂絵作りに夢中で取り組んだりしていました。今ある状況の中で、自分たちで2日間の体験学習を楽しくしていこうとする様子に、とても感心させられました。中でも、砂絵作りの時、早く仕上がった子が、まだ作り途中の子のごみを最後まで片づけていたのには感動しました。自分のことだけでなく、周りの子やみんなのために頑張っている姿はとても素晴らしかったです。

4年生の愛川体験学習は、天気にも恵まれ、予定していたプログラムを行うことができました。心に残ったのは、高取山登山です。私は最後尾を数人の子どもたちと登っていきました。内心、途中でリタイアする子が出るかもしれないという不安を抱えながらも、「絶対、最後まで登りきるぞ!」と声をかけて登りました。途中、何度も弱音をはいたり、すべって転んだり、また、ぜいぜいと苦しそうに息をする子もいましたが、決して最後まであきらめることなく、登りきることができました。頂上から見た景色、食べたお弁当の味は、格別なものだったに違いありません。そして、その陰には、「がんばれ。」「あきらめるな。」「もう少しだぞ。」と、ずっと励ましの声をかけ続け、一緒に登ってくれた友達の姿がありました。頂上に着く前にすれちがった学年の友達からも、たくさんの励ましの声をもらっていました。友達を励まし支えようとする姿に、また、それに応え、決してあきらめずに最後までやり遂げようとする姿に、子どもたちの心の成長を感じました。

宿泊体験学習だけでなく、子どもたちは、日々の学校生活でも、様々な体験を通しながら、たくさんのことを学び、成長しています。これからも、子どもたちの協力する姿、頑張る姿、輝く姿をたくさん引き出していければと思っています。それが、「ひびき合い」の高まりにつながっていくと考えています。